

# 春だ！ お花だ！ ガーデニングだ！ 電動工具で組み立てカンタン シリーズ ミニポットも飾れる「プランターカバー」を作ろう



これは65cmのプランターがぴったりおさまるサイズです。サン木を縦横に交互に組んで積み上げたプランターカバーは、通気性もよく暑い夏にもびったり。(上)ガーデニング塗料でペイントしたのも。(下右)バーナーで焼き目をつけると、ちょっと渋い感じに。(作り方は次ページ)

プランターカバーの縁を、長火鉢風にちよっと広くしただけで、ミニポットや小物を置くスペースができます。市販品にはないデザインのものでできるところが、手作りのよさ。花いっぱいのお春を迎え、こんなプランターカバーを作ってみませんか？ 電動工具があれば、組み立てはカンタン。制作の指導は、ホームセンターさくもと浦添店。工具協力は、松下電器産業の「マイジョイ」シリーズです。



【電動工具】①充電パワーカッター  
②充電ドリルドライバー  
③充電インパクトドライバー



【木材・用具】  
①木材(1×2、1×4 SPFランバー) ②木工用ボンド ③ハケ  
④ガーデニング塗料(カラーステインなど) ⑤メジャー  
⑥サンドペーパー ⑦カネジャク ⑧ドライバービット(下穴あけ用、プラス)  
⑨鉛筆 ⑩木ネジ(30mm、75mm) ⑪クランプ

ホームセンターで、  
こんな材料を用意しましょう





ミニポットも飾れる  
「プランターカバー」

# 電動工具だから、ビギナーでもアツという間に組み立て完了! ホームセンターの女性スタッフもアツという間に組み立て完了! 寄せ植えをステキに演出する プランターカバー作り



●ホームセンターのスタッフ  
(左から)宮城育恵さん、伊波美香さん

●アドバイス  
(右から)DIYアドバイザー／池原パイヤー、幸地さん、宮城さん



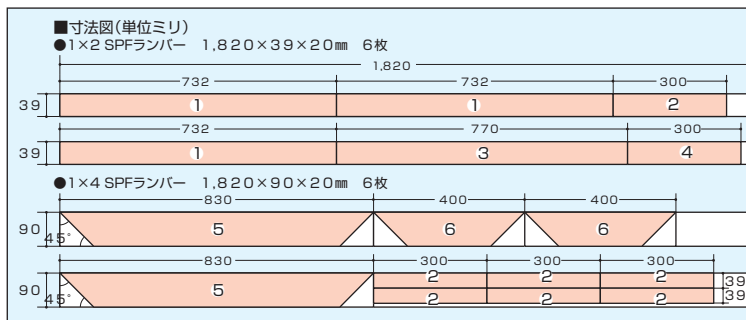
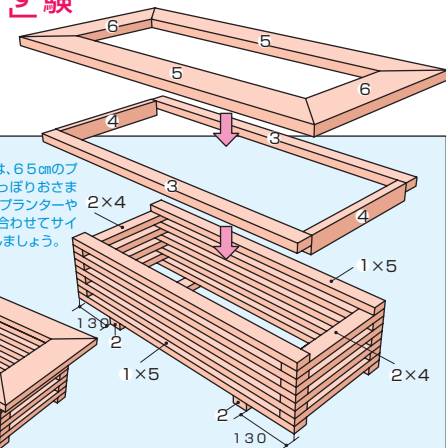
「先輩！よろしくお願いします」と、お店のDIYのベテランにあいさつして、作業手順の説明を聞きます。

最初は、「売る立場の2人が、お客さまの立場を経験  
使ってみるとセールスポイントがよくわかります」  
今回のパコマDIY教室は、いつも  
の読者スタッフ登場ではなく、取  
材店であるホームセンターさくもと  
浦添店の女性スタッフ2名にトライ  
してもらいました。レジ担当の宮城  
育恵さんと、工具担当の伊波美香さ  
んです。レジ担当の宮城さんは、電動  
工具は今まで全く使ったことがなく、  
伊波さんも「電動工具もどンドン進  
化しているし、工具担当なので、もっ  
と電動工具に強くなりなりたい」と、張り  
切って挑戦。

「は、2人とも初めて使います。工具  
を板に水平に当てること、初めはゆ  
っくり動かすことなど使い方のポイ  
ントを聞き、まずはトライ！2人で  
交互に使ってみながら「思ったより  
カンタンに使えますね」、「見た目よ  
りも軽くて手になじみやすい、それ  
でこのパワーとスピードにはびっく  
りです」などの感想が次々と。きれいな  
木口で直線カットができてしまう  
パワーカッターの威力に、「これを知  
ったらもうノコギリを使う気がしな  
くなりませぬ。お店でも特に女性の  
方に奨めたいくなりました」とパワ  
ーカー絶対賛成です。



パワーカッターは、思ったより軽くコンパクト。直線カットがアツという間にできるのに驚き。





ミニポットも飾れる「プランターカバー」の作り方

インパクトドライバーは、ハードな作業のときは特にお役立ちモノ。「たたき込む・締める」すごいパワーに最初はびっくり、慣れたらラクラク。



**ドリルドライバーとインパクトドライバーは、穴あけ・ネジ締めが一瞬！スピード組み立ての必需品**  
木のカットが終わると、続いて組み立て作業です。組み立ては、木ネジを締めていく作業ですが、木ネジを締める位置に、先に下穴をあけておくのがポイント。ピギナーにも木ネジを打ち込みやすく、また板が割れる心配ありません。下穴あけには、

ドリルドライバーを使いますが、基本的な使い方のポイントを教わって、穴あけにトライ。スイッチを入れて作動すると、ネジ元を照らすライトが点灯するドリルドライバーは、マジジョイシリーズの最新モデル。スイッチ・オフの状態では手締めもできるので、最後の一締めが確実にできます。「電動工具って、使ってみるとカンタンなんです。デザインもおしゃれで女性に好まれると思います」と伊波さん。2人の協力で下穴あけはスピーディーに進みます。

木ネジ締めには、インパクトドライバーを使います。上からたたき込むハンマー機能とネジ締め機能をあわせ持つインパクトドライバーは、初めて使うときは、文字通りインパクトを感じる手応えが、「これは、特に分厚い板に長いネジを打ち込むときには欠かせませんね。薄い板ならドリルドライバー1台でたいのことはできます」とアドバイザーの宮城さん。今回の作品には、7mmという長い木ネジを使う箇所があり、そこではこのインパクトドライバーが大活躍でした。

「電動工具があれば組み立てカンタンって、ほんとですね。自分のオリジナルな作品が、こんなにラクに作れることを売り場でもっとアピールしたいです」と工具担当の伊波さん。

宮城さんも、「一度自分の手で作ると自信ができてハマリそう。これから寄せ植えなど園芸も人気が高まる時期なので、ステキなプランターカバーでおしゃれに演出してほしいですね」と、初めての木工DIYにトライした感想を。この春あなたも、自分だけの個性的なプランターカバーを電動工具で手作りしてみませんか。

**1** 木材に図面どおりにスミ入れして、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)



**2** 最初に、額縁風の天板枠を組み立てる。

①木ネジを打つ位置(四隅の角部分)に、ドリルドライバーの穴あけビットで下穴をあける。



②接着面に木工用ボンドを付け、下穴をあけた位置にインパクトドライバーで木ネジを締める。(クランプで固定すると作業がやりやすい)



**3** 箱の部分を組み立てる。  
①サン木を交互に井ゲタ状に組んでいく。(下穴はドリルドライバー、木ネジはインパクトドライバー使用)



②木ネジを打つ位置を、段ごとに重ならないように注意する。



**4** 側面最上部の左右に、天板受けの補強用ヨコ木を取り付ける。



**5** 前面と後面最上部にも、ヨコ木を取り付ける。



**6** 箱部分を裏返し、額縁風天板の上に重ねて、天板を取り付ける。



**7** 最後に、プランター受けになる脚部の木を取り付け、サンドペーパーで全体をなめらかに磨く。



\* ガーディング用塗料でペイントしたり、バーナーで焼き目を付けると個性的な仕上がりに。  
\* 木工関連の材料やサービスについて、一部扱っていないホームセンターもあります。

DIYベテランの先輩が、模範演技を見せて指導の場面。「さすが先生！」手際のよい作業に、しばし見とれてしまいました。